

1 集落営農数

平成30年2月1日現在の集落営農数は1万5,111となり、前年に比べて25(0.2%)減少した。このうち、法人の集落営農数は5,106となり、前年に比べて413(8.8%)増加した。これにより、法人の全体に占める割合は33.8%となり、前年に比べて2.8ポイント上昇した。

全国農業地域別にみると、東北が3,344と最も多く、次いで九州(2,415)、北陸(2,383)の順となっている。このうち、法人の集落営農数は、北陸が1,193と最も多く、次いで中国(892)、東北(869)の順となっている。

また、集落営農に占める法人の割合をみると、北陸が50.1%と最も高く、次いで中国が41.6%、東海が35.7%の順となっている。

図1 集落営農数(全国)

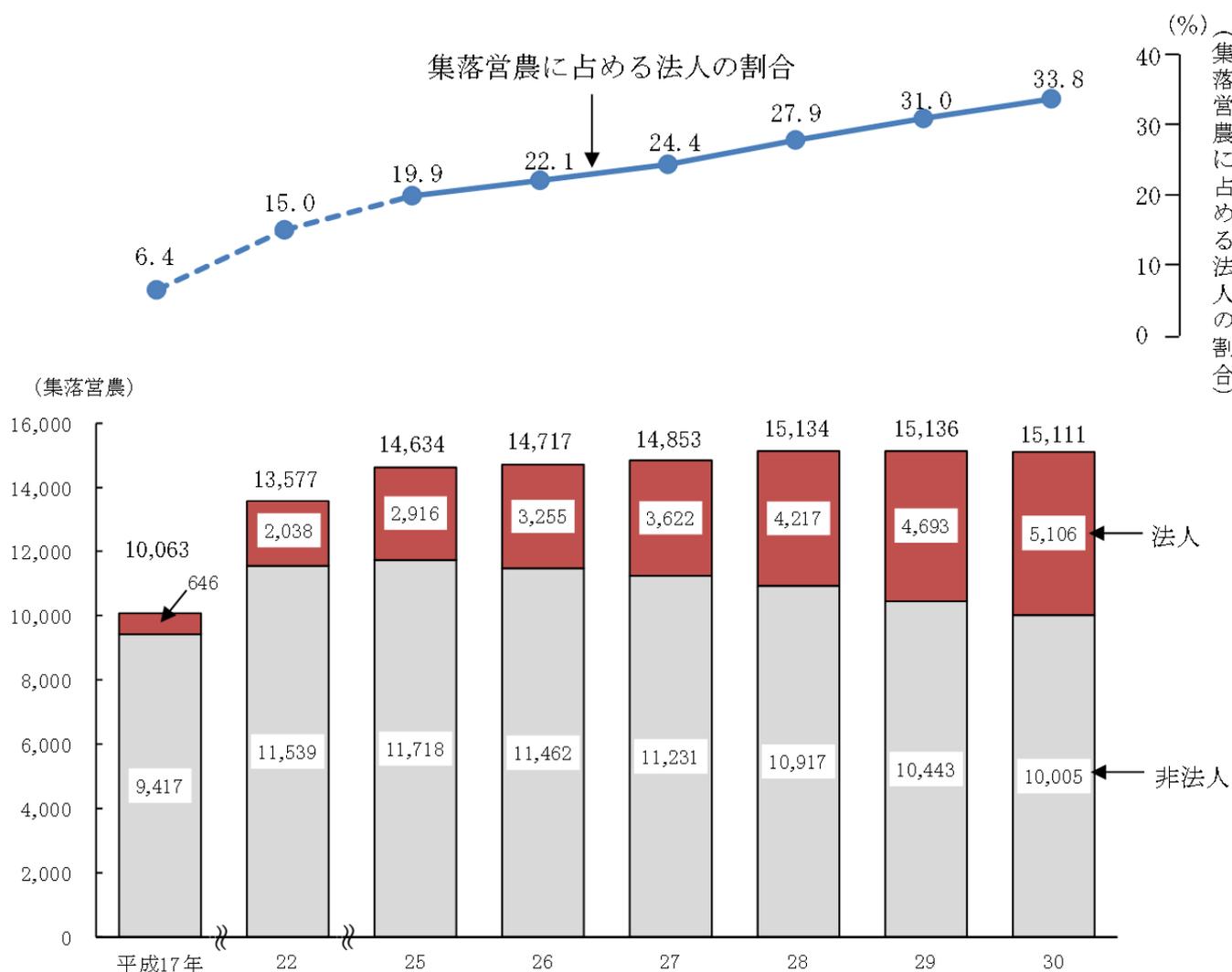


表 組織形態別集落営農数（全国農業地域別）

区 分		単位	全 国	北 海 道	東 北	北 陸	関 東・東 山	東 海	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
平成29年	計	集落 営農	15,136	266	3,418	2,375	1,040	785	2,104	2,124	540	2,478	6
	法 人	"	4,693	39	800	1,113	330	259	474	850	156	672	-
	非法人	"	10,443	227	2,618	1,262	710	526	1,630	1,274	384	1,806	6
	法人割合	%	31.0	14.7	23.4	46.9	31.7	33.0	22.5	40.0	28.9	27.1	-
30	計	集落 営農	15,111	269	3,344	2,383	1,055	788	2,147	2,144	559	2,415	7
	法 人	"	5,106	40	869	1,193	351	281	570	892	171	739	-
	非法人	"	10,005	229	2,475	1,190	704	507	1,577	1,252	388	1,676	7
	法人割合	%	33.8	14.9	26.0	50.1	33.3	35.7	26.5	41.6	30.6	30.6	-
対差 平成30-29年	計	集落 営農	△ 25	3	△ 74	8	15	3	43	20	19	△ 63	1
	法 人	"	413	1	69	80	21	22	96	42	15	67	-
	非法人	"	△ 438	2	△ 143	△ 72	△ 6	△ 19	△ 53	△ 22	4	△ 130	1
	法人割合	ポイント	2.8	0.2	2.6	3.2	1.6	2.7	4.0	1.6	1.7	3.5	-
増減率	計	%	△ 0.2	1.1	△ 2.2	0.3	1.4	0.4	2.0	0.9	3.5	△ 2.5	16.7
	法 人	"	8.8	2.6	8.6	7.2	6.4	8.5	20.3	4.9	9.6	10.0	-
	非法人	"	△ 4.2	0.9	△ 5.5	△ 5.7	△ 0.8	△ 3.6	△ 3.3	△ 1.7	1.0	△ 7.2	16.7

注：表中の「△」は減少したものを示す。

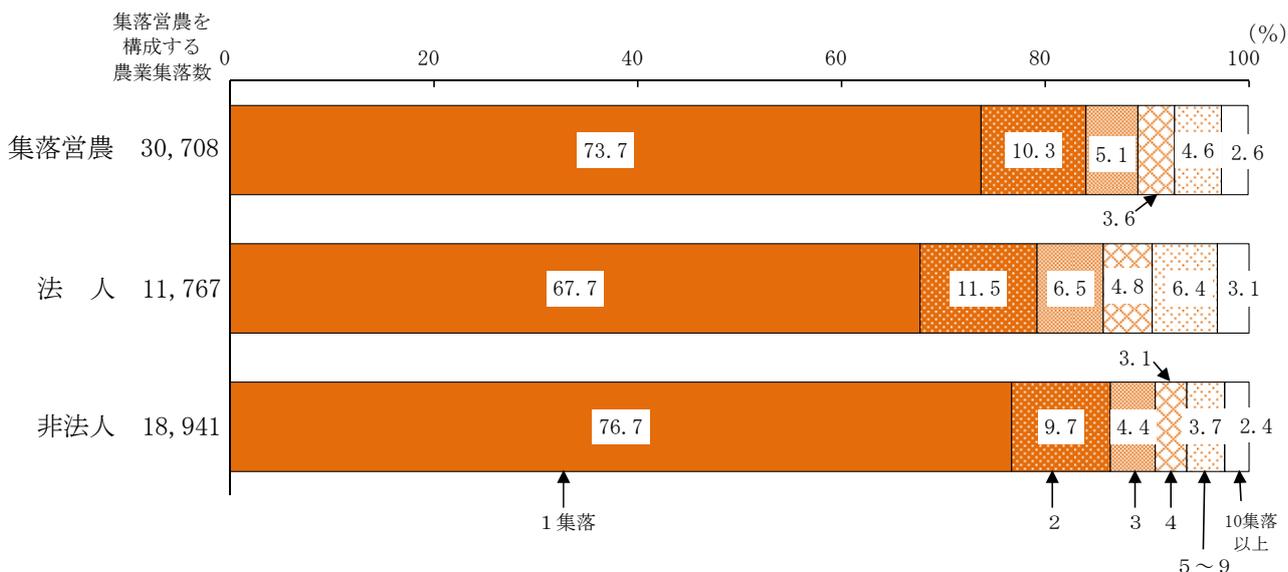
2 集落営農の構成

(1) 集落営農を構成する農業集落数別集落営農数

集落営農を構成する農業集落数別に集落営農数割合をみると、一つの農業集落で構成されている集落営農が73.7%となっている。

また、法人の集落営農では5集落以上で構成されている集落営農数の割合は9.5%となっている。

図2 集落営農を構成する農業集落数別にみた集落営農数割合（全国）



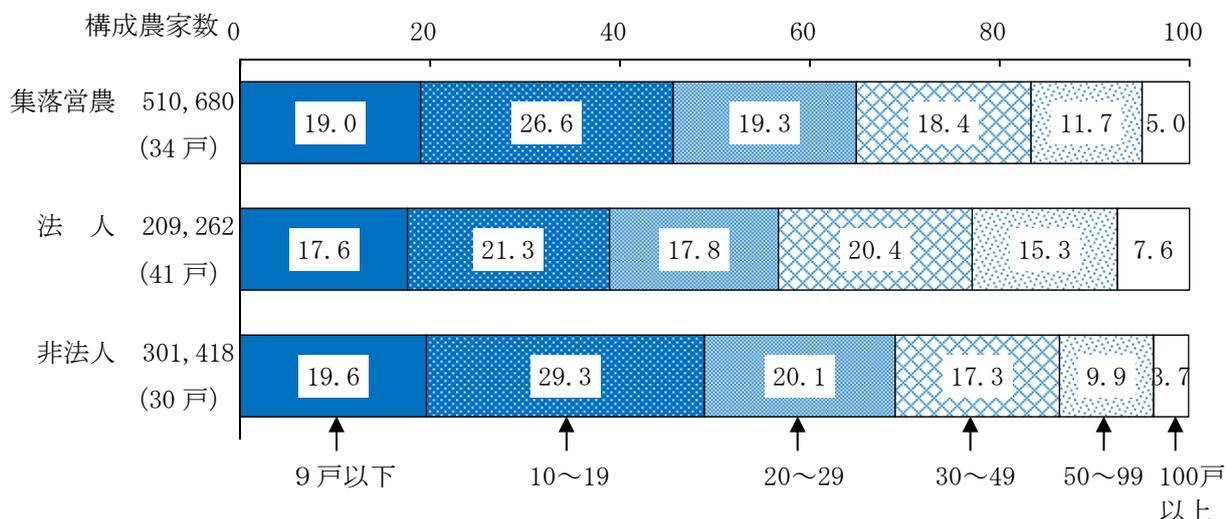
注：構成比については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

(2) 集落営農に参加する農家数別集落営農数

集落営農に参加する農家数別に集落営農数割合をみると、10~19戸で構成されている集落営農が26.6%と最も多く、次いで20~29戸（19.3%）、9戸以下の順となっている。

また、法人の集落営農では1集落営農当たり構成農家数は41戸で、100戸以上が参加している集落営農数割合は7.6%となっている。

図3 構成農家数別にみた集落営農数割合（全国）



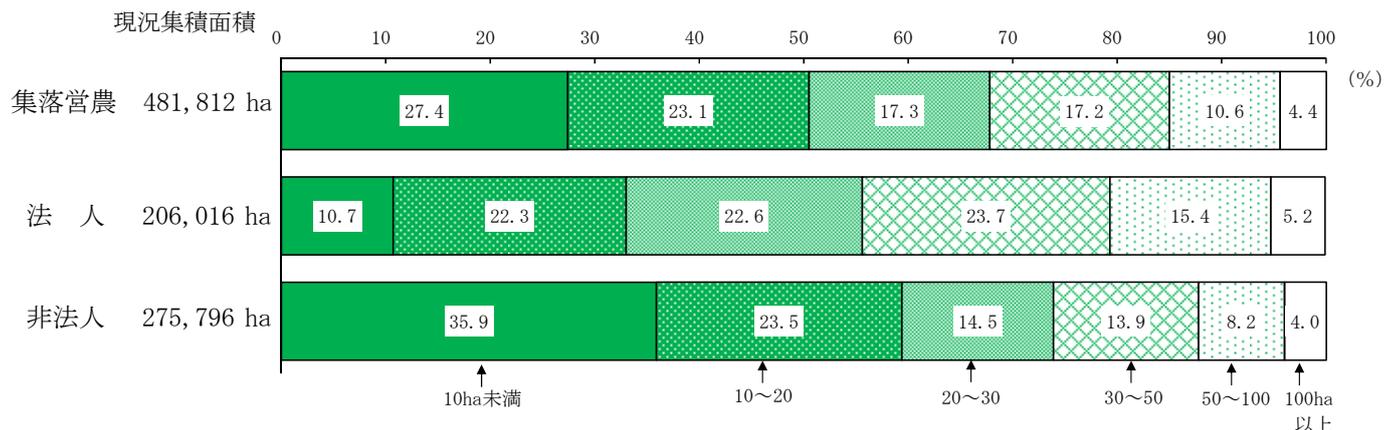
注：（ ）内の数値は、1集落営農当たり構成農家数である。

3 集落営農による農地の集積状況

農地の現況集積面積（経営耕地面積＋農作業受託面積）の規模別に集落営農数割合をみると、10ha未満の集落営農が27.4%と最も多く、次いで10～20ha（23.1%）、20～30ha（17.3%）の順となっている。

また、集落営農による農地の集積面積は全体で48.2万haとなり、法人の集積面積は20.6万haとなっている。

図4 農地の現況集積面積規模別にみた集落営農数割合（全国）



4 集落営農における活動内容（複数回答）

集落営農における具体的な活動内容を集落営農数割合でみると、「機械の共同所有・共同利用を行う」が80.3%と最も高く、次いで「農産物等の生産・販売を行う」（76.9%）、「作付地の団地化など、集落内の土地利用調整を行う」（56.6%）の順となっている。

なお、法人では「農産物等の生産・販売を行う」（98.9%）が最も高くなっている。

図5 活動内容別集落営農数割合（複数回答）（全国）

